

(2) 年 教科【 国語 】

使用教科書	伝え合う言葉 中学国語2	
学習の目標 ・ねらい	・論理的に考える力や共感したり想像をしたりする力を養う。	
年間の 授業内容	前期	4月 詩「虹の足」、小説「タオル」 活用のない自立語（名詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞） 5月 説明文「日本の花火の楽しみ」、敬語、話し言葉と書き言葉 【ここまで前期中間テスト範囲予定】 6月 説明文「水の山 富士山」、短歌の味わい、動詞の活用の種類 7月 小説「夏の葬列」、エッセイ「夢をとぶ」、動詞の活用形 【ここまで前期期末テスト範囲予定】 9月 古典「敦盛の最期」、随筆の味わい「枕草子」「徒然草」
	後期	10月 随筆の味わい「枕草子」「徒然草」、説明文「紙の建築」、 11月 小説「坊ちゃん」、持続可能な未来を創るために、形容詞・形容動詞 【ここまで後期中間テスト範囲予定】 二千五百年前からのメッセージ「論語」 12月 二千五百年前からのメッセージ「論語」、書写 1月 説明文「ガイアの知性」、小説「走れメロス」 2月 説明文「学ぶ力」、漢字の成り立ち 【ここまで後期期末テスト範囲予定】 3月 付属語、よりよい結論を導く討論をする
特色ある 学習など	グループ学習 言語・読解学習	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に国語の学習に取り組むことができたか。(主体的に学習に取り組む態度) ・論理の展開などに注意して書き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができたか。(思考・判断・表現) ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫することができたか。(思考・判断・表現) ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができたか。(思考・判断・表現) ・言葉の特徴や使い方に関する事項を身につけることができたか。(知識・技能) 	
評価の方法	定期テストや漢字テストの内容、ノート、ワークなど提出物の内容や提出率、授業態度、発表の内容などで総合的に評価する。	
注意事項	特になし	

